

松連禪寺の碑

ろあん

慈岳山松連寺第8代住職魯庵により、今から190年前に（文政13年1830）建立されました。碑の中で、魯庵がこの地に来た当初は寺が荒れており、彼が積極的に百草城の跡地を利用して「松連寺十八景」をつくり、江戸から多くの文人を招いたことを記しています。



慈岳山松連寺住職の墓地にある魯庵の墓塔。「魯庵道」と刻まれている。